

基本理念

子どもと親と地域が共に育ち、世代を結ぶまち すみだ

5年後の将来像

子ども

心もからだも元気に育ち、すみだを愛し、いつまでも住み続けたいという気持ちが育まれている

子育て家庭

安心して子どもを生み、愛情と責任をもって楽しく子育てをしている

地域(企業含む)

子どもを地域全体で見守り、支えあい、みんなで子育てをしている

5つの宣言

宣言①

子どもたちをたくましく心豊かに育てます

宣言②

すべての子育て家庭がゆとりをもって楽しく子育てできるようにします

宣言③

個別の支援が必要な子どもとその家庭をきめ細かくサポートします

宣言④

地域ぐるみで子育てを見守り・協力しあいます

宣言⑤

子どもと子育て家庭が暮らしやすい環境をととのえます

具体的な方向性

- (1) 子どもの豊かな育ちを育む場・機会の充実
- (2) 子どもの生きるための基礎的な力を育成する環境の整備
- (3) 子どもの心とからだの健康づくりの促進

- (1) 親と子の健康づくりの促進
- (2) 子育て支援サービスの充実
- (3) 保育園・幼稚園等の保育サービスの充実
- (4) 子育て家庭への経済的な支援

- (1) ひとり親家庭等への支援
- (2) 障害のある子どもの発達と成長支援
- (3) 保護が必要な子どもとその家庭への支援

- (1) 親同士のつながりと子育て力の育成
- (2) 地域の子育て力の育成と協働
- (3) 企業等の子育て力との協働
- (4) 子育て支援ネットワークの構築

- (1) ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた環境づくりの推進
- (2) 子どもの安全を守るための環境の整備
- (3) 子育てにやさしいまちづくりの推進
- (4) 子育て家庭の視点に立った情報の発信

重点事業

- ・児童館事業
- ・学童クラブ
- ・児童館等整備事業
- ・いきいきスクール
- ・公園再整備の計画的推進
- ・国際理解教育の推進
- ・小・中学校での食育の推進
- ・健康と体力向上の推進

- ・小児医療体制の充実・確保
- ・乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)
- ・食育啓発・推進事業
- ・多様な保育サービスの充実(緊急一時保育・一時保育・特定保育・延長保育)
- ・いっしょに保育
- ・子育て安心ステーション事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・子育てひろば
- ・地域の空き店舗等を活用した子育て支援事業
- ・保育所の整備(認可・認証の整備、改築計画)
- ・訪問型病後児保育・施設型病後児(病児)保育
- ・「保育所における質の向上のためのアクションプログラム」の策定・実施
- ・認証保育所保育料利用者負担軽減助成制度

- ・障害(発達障害を含む)児に対する保育育成支援(保育所、学童クラブ、放課後対策)
- ・要保護児童対策地域協議会の機能強化
- ・要保護児童対策地域協議会を中心とした虐待防止、再発防止の強化
- ・養育支援訪問事業

- ・「すみだ家庭の日(毎月25日)」の普及と活用
- ・学校における地域人材の活用
- ・学校支援ネットワーク事業
- ・次世代ものづくり人材育成支援事業
- ・中学生の職業体験・保育体験学習の充実や小学生の幼児との交流
- ・子育て支援の機能充実
- ・子育てサポーターの育成・活用
- ・地域子育てアドバイザーの育成
- ・子育て人材育成・活用ネットワーク化事業

- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業
- ・男性の育児参加にむけた意識啓発
- ・地域防犯対策
- ・安全・安心メール
- ・赤ちゃん休けいスポット事業
- ・まち歩きイレ整備事業
- ・子育て支援に関する区ホームページのコーナー作成
- ・子育て支援に関する携帯電話専用Webサイトの作成
- ・子育て手帳(こどもダイアリー)の作成

平成25年度第3回墨田区子ども・子育て会議のグループワークにおいて各班から出された意見

赤字 = 大豆生田会長のコメント

A班	B班	C班	D班
<p>テーマ：「乳幼児の教育・保育に大事なこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の支援の充実 地域に相談できる人と場所を確保 地域での様々な交流 ● 親支援 親子が共に過ごす時間の充実 就労家庭の子どもにかかる負担軽減 ● 保育の充実および質の保障 保育士の専門性の確保 保育の量と種類の確保 子どもの多様な経験の保障 <p>ワークライフバランスと保育の質が重要である。</p>	<p>テーマ：「乳幼児の教育・保育に大事なこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● こんな子どもになってほしいという思い (皆が仲良く幸せに暮らす) 命を守る、犯罪者にならない、納税する 心の育ちの重要性の社会的認知 平均的な筋力・筋肉、正しい生活リズム ↓ そのために ● 保護者への支援（子どもを囲むように） 地域や行政のバックアップ 相談できる人と場 家庭と園との連携 情報提供やレクチャー ● 保護者のバランス（働き方） 保護者が考える ワークライフバランスの積極的推進 社会的理解、待遇の改善 子どもとの時間のとり方 ● 地域 他人との接点を増やし、関心を持つ 地域で子どもに関わり、育てる <p>乳幼児期の育てられ方は後に大きく影響するので、相応しい生活のために、保護者への支援、地域の支え、ワークライフバランスが重要である。</p>	<p>テーマ：「学齢期の子どもを育てる上で大事なこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもを中心とした若い世代のネットワーク 町会役員の高齢化など、地域力の低下 ↓ 地域力を高める必要 地域と学校・家庭との連携 地域で、学校ではできない体験等をさせる 早い親離れが子どもの心の成長を阻害している ↓ 生きる力、心の成長、自立 ● きめの細かい子育て支援 障害のある中学生の支援 幼稚園児の放課後支援 トワイライト学童クラブ、冒険遊び 中学生の居場所づくり 負けない心、社会で生きていける子を育てる 家庭への関係を強めることにより、地域を愛する力が出てくる <p>子どもを中心とした地域のネットワークが重要である。</p>	<p>テーマ：「学齢期の子どもを育てる上で大事なこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● しつけ・道徳 社会規範、集団生活、物の大切さ、etc ● 勉強 学習の習慣づけ 職業を意識した教育（中学～） 調べる力、想像する力、読書、金銭教育 ● 様々な体験 自然体験 地域の施設や人材の有効活用 必要な方への支援 家庭と学校の役割および連携 <p>地域の中での体験の位置づけと、その周知が重要である。</p>

共通の意見：「子どもの最善の利益」を満たすためには、子どもを中心とした“地域ネットワーク”、“家庭”、“ワークライフバランス”が重要である。

平成25年度第3回墨田区子ども・子育て会議のグループワーク
により出された意見から導き出される5つの理念

○子どもの最善の利益を優先したものとすること。

○保育の量的整備のみならず、保育の質を重視したものとすること。

○困難を抱えた子どもと家庭への支援体制を手厚くすること。

○地域の子育て力及び連携を強化すること。

○ワークライフバランスを踏まえた支援とすること。